

定例理事会議事録

日時： 2026年1月20日 19:30-21:30

場所： あおば薬局戸田公園 WEB 併用

参加者： 武長、野口、小林、芹澤、鎌田、中川、染川

概要

概要本理事会は、定例の議題審議を目的として開催された。主に、次年度の事業計画・予算案の策定スケジュール、地域医薬品供給体制事業の進捗報告と承認事項、そして薬学生実務実習における外部研修の責任問題が議論された。最終的に、供給体制事業の運用規定改定と参加薬局リストのウェブサイト公開が承認され、実習の責任問題については指導薬剤師との意見交換の必要性が確認された。また、理事報酬については、事務的負荷の課題から結論は先送りとなった。

次年度事業計画・予算案の策定

令和8年度の事業計画案および予算案の策定に関する事務連絡が行われた。前年度は12月から作業を開始していたのに対し、今回はスケジュールが遅延していることが共有された。各委員会の担当者に対し、配布された令和7年度の計画・予算案（赤字で記載）を基に内容を修正・更新し、全文を黒字にして提出するよう要請があった。提出期限は**2月21日（土）**とされ、提出された案は3月上旬にメールで共有後、次回の理事会で承認される予定である。また、3月から年度末の決算期に入るため、経費精算が必要な場合は領収書を早めに提出するよう周知された。

地域医薬品供給体制事業の進捗と承認

「地域医薬品提供体制アクションリスト（ファルモ活用）」事業の進捗が報告され、今後の運用について審議された。当初24軒の参加希望があったが、最終的に**19軒**の薬局が参加を決定したことが共有された。これに基づき、戸田市および県からの補助金申請手続きが進行中である。また、市からの助成金申請は10件あり、規定通り合計10万円の支出が見込まれる。

審議の結果、以下の2点が承認された。

1. **運用規定の改定案の承認**：昨年12月の提言書を受け、修正された運用規定が承認された。今後、ウェブサイト上の規定が差し替えられる。
2. **参加薬局一覧のウェブサイト公開**：広報効果と情報共有を目的として、参加薬局の一覧を薬剤師会のウェブサイトに掲載することが承認された。掲載場所はトップページの赤枠内とし、訴求力を高める方向で進められる。

なお、1月30日をもって本事業の初期アクションプランは一旦完了となり、東日本メディコムなど外部からの助成金に関する問い合わせに対しては、「2月以降の導入は未定」と回答する方針が確認された。

薬学生実務実習における外部研修の責任構造問題

川口市薬剤師会で、外部研修先で学生が実習を中止した事案が発生し、合同研修が保留になっている件が報告された。これをきっかけに、薬学生の実務実習における外部研修（合同研修、学校薬剤師への帯同など）に伴う責任の所在と構造的問題について詳細な議論が行われた。

現状では、指導薬剤師の直接的な管理下でない場所で実習が行われる際、事故やトラブルが発生した場合の責任分担が不明確であるというリスクが指摘された。特に、薬剤師会が善意で仲介・調整役を担うことで、かえって責任の所在が曖昧になり、実習生や関係者を守る体制が不十分であるとの懸念が示された。たとえ二者間（指導薬剤師と研修先）の契約や信頼関係に基づいているとしても、薬剤師会が調整に関与する以上、一定の責任を問われる可能性がある。

対策として、以下の案が検討された。

- 指導薬剤師全員で問題意識を共有し、リスクについて議論する場を設ける。
- 責任の範囲や報告義務を明記した、より詳細な依頼書（プロトコル）を作成し、運用を標準化する。

負担増を懸念して研修の受け入れ手が減少する可能性も考慮されたが、リスクを理解しないまま無責任に実習を行う・行わせる現状の方が問題であるとの見解で一致。まずは実務実習委員会内で、指導薬剤師との意見交換会開催を検討する方向となった。

理事報酬・費用弁償制度の検討

理事のなり手不足解消や会務に対する責任の明確化を目的として、理事報酬および費用弁償制度の導入に関する議論が継続された。少額でも報酬を設けることで、ボランティアではなく責務であるという意識を醸成する効果が期待される一方、運用上の課題が浮き彫りとなった。

特に、オンライン参加時の費用弁償の可否（Wi-Fi 費用などは実費証明が困難）、参加状況の正確な把握とチェック体制、申請・承認・支払いに伴う会計担当の事務的負荷の増大が大きな障壁として認識された。年一回の自己申告制や Google フォームの活用などの効率化策も提案されたが、現状の管理体制では正確なチェックが困難であるとの結論に至った。

制度の導入には会員の理解が不可欠であること、また、性急に筋の通らない制度を導入しても効果が見込めないことから、今回は明確な結論を出さず、引き続き議論を継続することとなった。

Action Items

@各委員会担当理事

- 令和 8 年度の事業計画・予算案を、配布された令和 7 年度の資料を基に作成・修正し、全文を黒字化して提出する - 2025-02-21
- 精算が必要な経費がある場合、決算期（3 月～）に備えて早めに領収書を提出する - [TBD]

@担当理事

- 承認された「地域医薬品提供体制事業」の新運用規定に、ウェブサイト上の文書を差し替える - [TBD]

@担当理事

- 承認された「地域医薬品提供体制事業」の参加薬局一覧を、薬剤師会ウェブサイトのトップページ赤枠内に掲載する準備を進める - [TBD]

@担当理事

- 薬学生実務実習の責任問題について、指導薬剤師を集めた意見交換会を開催できないか、北氏と相談する - [TBD]